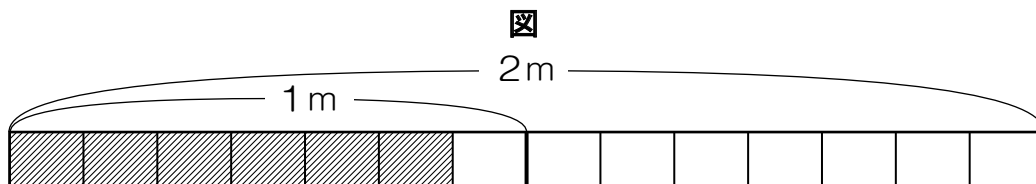


1

あきらさんたちは、分数のしくみについてふり返っています。

- (1) まず、あきらさんたちは、下の図のような2mのテープの、色のついた部分の長さについて話し合っています。

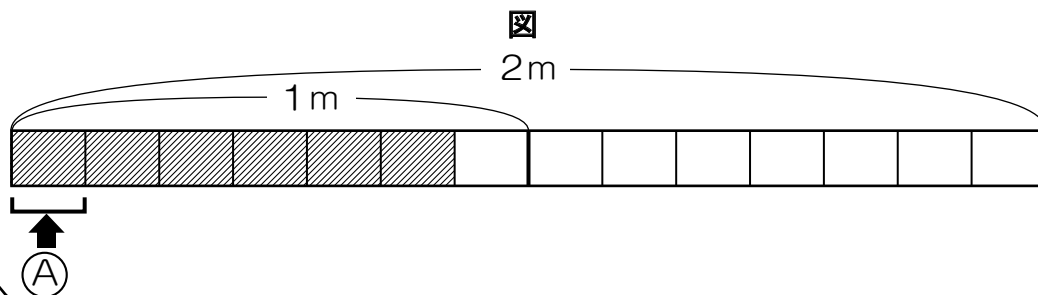


色のついた部分の長さは、下の図のように、(A)の部分の長さがいくつあるかを考えるといいね。

(A)の部分の長さは、2mを14等分した1つ分の長さだから $\frac{1}{14}$ mといえるね。



あきら



本当にそうかな？

(A)の部分の長さは、2mをいくつに等分しているかではなくて、
 mをいくつに等分しているかではないかな。



たける

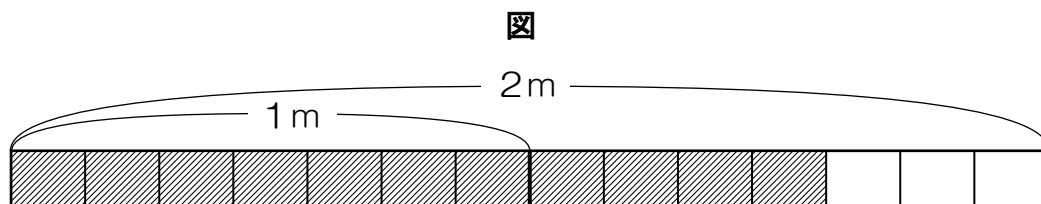


あきら

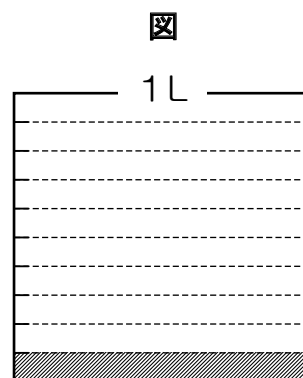
そうだったね。そう考えると、(A)の部分の長さは mになるね。
 だから、色のついた部分の長さは mの6つ分で、 mだね。

- ① あきらさんとたけるさんの考えの から にあてはまる数を書きましょう (ただし、アは整数、イとウは分数で表します)。

- ② あきらさんは、話し合いをもとに、下の図の色がついている部分の長さを考えています。色がついている部分の長さは何mですか。分数で答えましょう。



- (2) 次に、あきらさんたちは、分数と小数の関係について、水のかさを表した右の図を使って話し合っています。



あきら

色がついた部分の水のかさは、1 L を10等分した1つ分だから、
分数で表すと $\frac{1}{10}$ L だね。



たける

1 L を10等分した水のかさは、小数でも表すことができるね。
色がついた部分の水のかさを小数で表すと L になるね。



あきら

だから、 $\frac{1}{10}$ L と L は、同じ水のかさを表しているんだね。

あきらさんとたけるさんの考えの にあてはまる数を書きましょう。
ただし、 には、同じ数が入ります。